



We Believe the Possibilities

ひとりのかけがえのないいのちのために

2026年3月期 第3四半期 決算補足資料

2026年2月

ステラファーマ株式会社(証券コード:4888)

目次

1. 2026年3月期3Q 概要・進捗

2. 2026年3月期3Q 実績

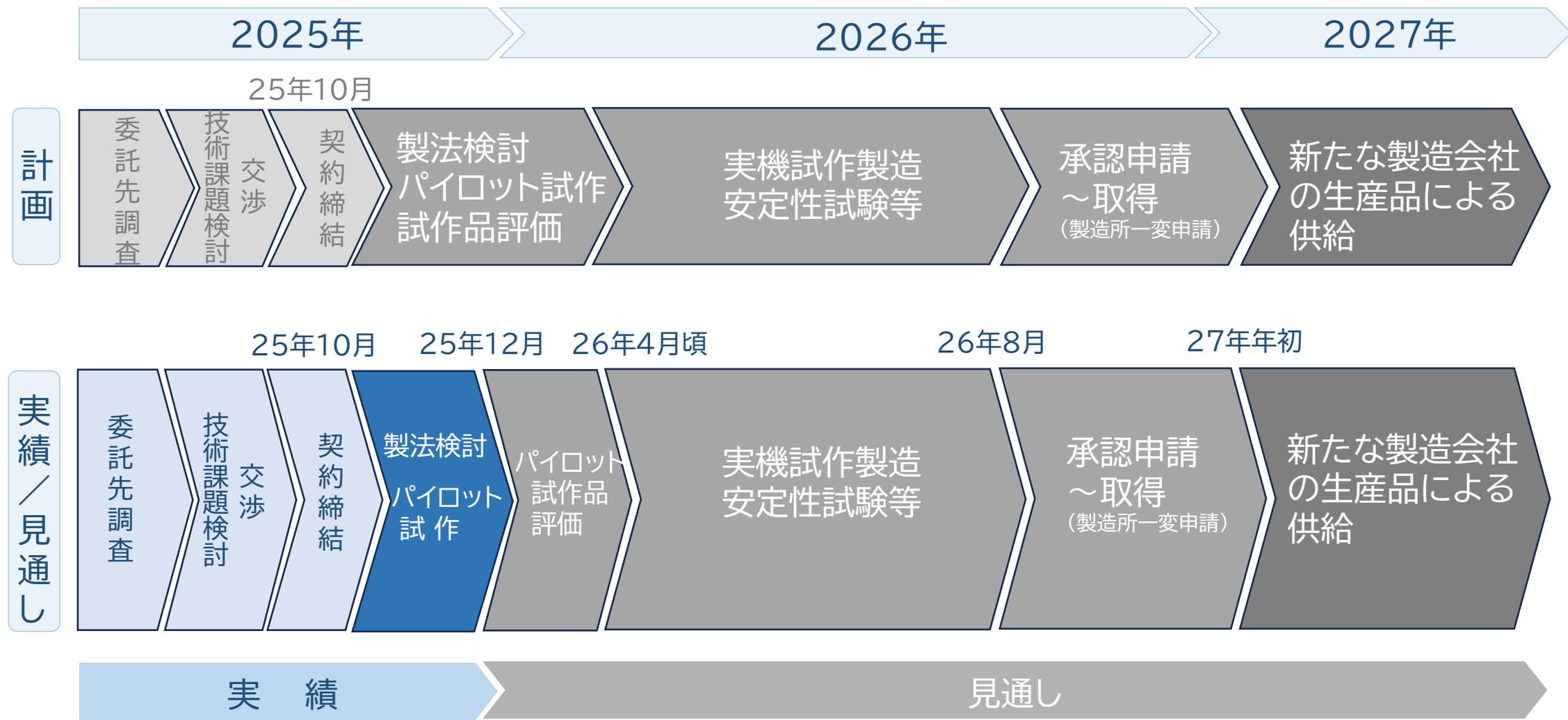


1. 2026年3月期 3Q 概要・進捗

1 経営成績	地域基幹病院での勉強会を通じた症例紹介の拡大により、売上は底堅く推移
2 財務	安定供給体制の再構築を目的として、製造所変更に伴う技術移転費用に充当するシンジケートローン139百万円の資金調達を実行
3 パイプライン	切除不能な皮膚血管肉腫および再発高悪性度髄膜腫について、厚生労働省及び独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)との協議を通じて、2026年3月期中の承認申請予定
4 研究開発	LAT1標的PET診断薬「5-[¹⁸ F]F- α Me-3BPA」に関する共同研究成果を公表 既存FBPA比で約5倍の腫瘍選択性を実現、BNCTとのセラノスティックスとしての活用にも期待 国際学術誌「European Journal of Nuclear Medicine and Molecular Imaging」誌で公開
5 国内展開	住友重機械工業と藤田医科大学が、深部がん治療の研究開発を目的としたBNCT治療システムおよびBNCT線量計算プログラムの導入に関する契約を締結 国内BNCT治療施設の拡充と深部がん治療の開発拠点を同時に具現化
6 海外展開	中国・海南島のBNCT治療施設が2026年2月に開院 海外におけるBNCT治療の社会実装に向けた重要な進展
7 製造体制	新たな国内製造委託先と生産移管に向けた試作・評価は計画通り進行中 2025年12月末までにパイロット試作を完了。2026年春頃まで評価試験を実施した後、同年4月頃より実機試作を開始し、8月には製造所変更に伴う一部変更承認申請を行う予定

製造委託先変更のスケジュールと進捗

生産移管の進捗は、11月27日の決算説明会資料で公表した計画どおり進行中です。



2. 2026年3月期 3Q実績 業績ハイライト

売上高

261百万円

前年差

+7百万円
(103%)

営業損失(△)

△512百万円

△137百万円

経常損失(△)

△509百万円

△138百万円

四半期純損失(△)

△512百万円

△138百万円

国内売上は、地域の基幹病院での勉強会を通じた症例紹介の拡大により、底堅く推移

研究開発費の増加を主因とする販売費及び一般管理費の増加が影響

2026年3月期の通期業績予想については、2025年10月14日に公表した内容から、現時点で変更はございません。

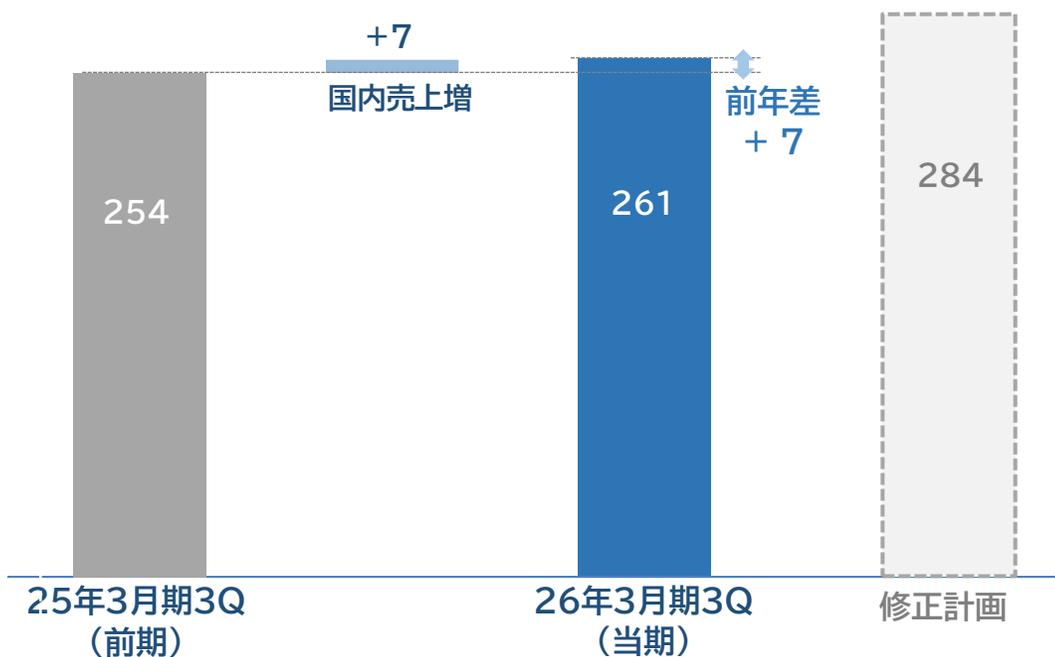
2. 2026年3月期 3Q業績 売上・利益分析

売上は、前年同期比3.0%増

利益は前年より販売費および一般管理費が143百万円の増加により減益

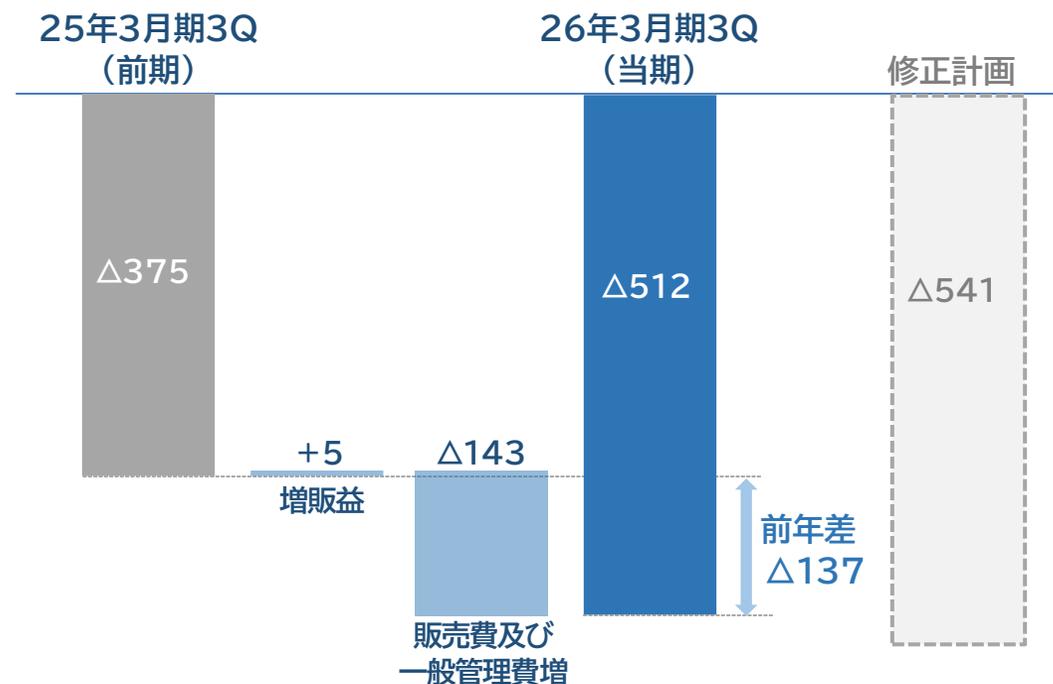
売上高

単位:百万円



営業利益

単位:百万円



- 本資料の著作権はステラファーマ株式会社に帰属します。本資料の内容について、当社の事前許可なく転載・複製・再配布、またはインターネット上への掲載を行うことは固くお断りします。無断でのご使用はご遠慮いただきますようお願い申し上げます。
- 本資料における計画や予想、戦略に関する記載については、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づく仮定によるものであり、当該仮定は将来の業績を保証するものではなく、実際の業績は今後様々な要因によって本資料の記載と著しく異なる場合があります。
- 本資料に含まれる当社以外に関する情報は、一般に公知とされる情報に拠っており、それら情報の正確性や適切性等について当社は保証するものではありません。
- 本資料に記載された内容は、事前の通知なくして変更されることがありますので、あらかじめご承知おきください。また掲載された情報の誤り等によって生じた損害等に関しましては、当社は一切の責任を負うものではありません。
- 本資料は、当社事業へのご理解をいただくために作成したものであり、医薬品及び医療機器に関する宣伝広告、医学的アドバイスを目的とはしておりません。
- 本資料は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込又は買付けの申込みの勧誘を構成するものではなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。